



桂川っ子

VOL.37

「教育目標の具現化にむけて」

桂川中学校 校長 安永保之

平成22年度全国学力・学習調査の中で、将来の希望や夢を持っている生徒は、全国平均が約45%で本校は約47%でした。

そこで、教育目標は、「人格の完成と共に、夢を描き、起業する力を備えた生徒の育成」(家庭・地域社会との連携をもとに)としました。生徒たちが自らの将来をたくましく生きていくためには、この「夢」(立志)は土台となるからです。学校教育では基礎学力・体力・道徳性を、並列に身につけさせることが責務ですが、夢は家庭・地域社会との連携なしでは身につけることができません。

そこで、本年度は職場体験や地域貢献活動、挨拶運動、マナー教育に加えて、授業での地域人材活用、PTAと連携して家庭教育・学習の手引作成、文化祭の日曜開



催などを通して連携を図ります。

また、学習環境の充実のため、一年生は、三学級を四学級に、全学年の学級担任を複数制にするとともに、全学級へPTA・教育委員会会の援助により扇風機の設置など教育環境の改善を図りますので、今後とも、本校教育へ、町民の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

「生き生き元気で

心豊かな幼児の育成」

桂川幼稚園 園長 長野陽一

桂川幼稚園の本年度の活動の大きな柱は、花や野菜の栽培活動と運動遊びの充実の二つです。この二つの活動を通して、豊かな心と健やかな体を育み、本園の教育目標である「生き生き元気で心豊かな幼児の育成」に努めていきます。

花や野菜の栽培活動では、種蒔き、育苗、苗の植え付け、収穫までの世話は、できるだけ園児の手で行わせ、一年を通して花いっぱいの花壇、野菜いっぱい畑にしたいと思っています。

特に、野菜の栽培活動では、野菜嫌いの子が多いこともあり、夏野菜、冬野菜など、一年を通して、いろいろな野菜を育て、収穫の喜びをみんなで味わいたいと思います。

ときには、収穫した野菜を家庭に持ち帰らせたりして、少しでも野菜嫌いの子が減るように家庭と連携していきたいと思えます。

運動遊びでは、できるだけ友だ

ちと一緒に遊ぶ機会を増やし、いろいろな遊びの中で、十分に体を動かすようにします。その中から、竹馬、鉄棒、跳び箱など、学級の運動遊びの目標に向かって取り組み、「もつとできるようになりたい」、「やった！はじめてできた！」など、楽しみながら「できる喜び」を味わえたいと思います。

